

原木伐採時期とほた木の黒腐病について

熊本県林業経営課	山崎長徳
	藤田健一郎
林業研究指導所	黒田隆明
宇城事務所	福永義人
阿蘇事務所	山本昭雄
玉名事務所	村上清

昭和49年にしいたけ生産地である県北東部から東部にかけての、阿蘇・上益城地方にほた木の黒腐病が発生して以来、その被害はしいたけ生産者にとって甚大なものとなっている。関係者の努力によって徐々に被害は減少しているが、梅雨時期の降雨その他の気象条件によっては被害増大も懸念される。そこで、51年から53年までしいたけほた付率向上技術の体系化に関する調査研究の目的で、プロジェクトを組み害菌に対する試験を行ったので、その中から原木伐採時期とほた木の黒腐病に関することを抜粋して報告する。

1. 試験方法

試験地の概要は表一に示した。試験地No.1からNo.4は青葉伐りと適期伐り（5～7分紅葉）、No.5No.6は1月伐りと適期伐りとの比較試験である。

原木の伐採は、試験地ごとに立木の状態を見てそれぞれの目的に合った日に伐採した。青葉伐りは10月下旬～11月上旬、適期伐り11月上・中旬、1月伐り1月中旬である。

試験本数は年により、試験地によって入手本数が異なったため、全試験地を一定にできず試験区分ごとに20～25本となった。

伏込み場所は、原則として原木の伐採跡地あるいはその周辺に伏込んだ。No.2については、伐採地が北面傾斜地の谷間であったため約2km離れた原野まで運搬し伏込んだ。

伏込み地の管理は下刈りを梅雨中と梅雨後の2回、その他梅雨後、暴風後に笠木の調整を行った。

試験木の調査は、一夏経過後の秋に行い伏込みを展開して、浮き皮の状態・ムラサキホコリカビの付着・樹皮面の打診・剥皮により全本数を調査し、被害の有無を判別した。

2. 結果と考察

青葉伐りと適期伐りとの比較試験結果が表一2である。これによると青葉伐りはNo.2の葉枯し期間60日とNo.3の90日で若干発生が少いが、それ以外では全試験地とも35%以上の高い被害率となっている。適期伐りとの比較によると、同じ60日区において青葉伐りの方が被害の少ないのはNo.2だけであり、同じく90日区においてもNo.3で青葉伐りの方が被害が少いだけで、他は青葉伐りの方が被害が多くなっている。又、適期伐りの30日、60日区をみてもいずれも青葉伐りよりも被害は少ない。

近年、伐採時期を早めることにより原木の枯死を促進し、死物寄生菌であるしいたけ菌の活着と蔓延をほかり害菌を予防しようという風潮が1部に広まりつ、あったので、この試験を試みた訳である。ほた木の黒腐病発生地外の人吉地方での同類の試験からも、その他の害菌や梢付率のうえから青葉伐りは良くない結果が出ており、表一2の試験結果からほた木の黒腐病の発生が多いことも考え合わせて、青葉伐りは原木伐採の時期として好ましくないということが本試験の結果である。

次に1月伐りと適期伐りとの比較試験結果が表一3である。これによるとNo.5の1月伐り葉枯し期間30日・鳥居伏せとNo.6の適期伐り・90日・百足伏せにおいて5%の被害があったが、他には全然発生を見なかった。52年の「九州地区しいたけ原木害菌対策協議会」において、国の林業試験場及び各県の試験機関の共通試験で1月伐りが好成績であったとの報告があり、本試験を試みた訳であるが、本試験を行った53年は一般にほた木の黒腐病の発生が少く、本試験結果から1月伐りの適否の判断するには至らなかった。そのため1月伐りについては、他の害菌の発生や梢付率等も考慮した今後の試験研究が必要である。

表-1 試験地の概要

試験地番号	伏込年次	試験場所	伏込地の概要				試験区分 毎の本数	種 菌
			標 高	場 所	方 位	傾 斜 度		
No.1	51年	上益城郡 清和村	青葉伐り 560m	伐採跡地	W	緩	25本	森121
			適期伐り 580		NE~E			
2	〃	阿蘇郡 産山村	720	原野	E	緩	25	〃
3	52	上益城郡 清和村	580	原野	SE	緩	25	〃
4	〃	〃 矢部町	740	伐採跡地	平坦	や、窪地	20	〃
5	53	〃 清和村	580	原野	S	緩	20	森465
6	〃	阿蘇郡 小国町	520	林内 スキ7~8坪	N	緩	20	〃

表-2 青葉伐りと適期伐りの比較試験結果

原木伐採時期		青葉伐り			適期伐り		
葉枯し期間		60日	90	30	60	90	120
試験地	No.1	+++++	+++++	++++	-	-	+
	2	+	++++	+	++	(++)	(+)
	3	+++++	+++	++	++	++++	+
	4	+++++	+++++		+++++	++	++

被害率： -0% +5%未満 ++5~20%未満 +++20~35%未満
 ++++35~50%未満 +++++50%以上

伏込方法： 鳥居伏せ

笠木の種類： 枝条 () 書は人工笠木

表-3 1月伐りと適期伐りの比較試験結果

原木伐採時期		1月伐り				適期伐り					
葉枯し期間		30日		60		60		90		120	
伏込方法		鳥居	百足	鳥居	百足	鳥居	百足	鳥居	百足	鳥居	百足
試験地	No.5	5%	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	6	0	0	0	0	0	0	0	5%	00	0

笠木の種類： 枝条